

……日本のリバイバルと大地震とに対する預言……

★1 デビッド・ウィルカーソン著 1994年10月1日発行 角笛出版「幻」36頁より

「**歴史上最大の地震**がアメリカに起こるのも、そう遠い将来のことではないでしょう。今までにない恐ろしいニュースに、アメリカ国民が打撃を受ける日は遠くはありません。テレビは番組の一切を中止して、そのことばかりを放映します。**アメリカにこのような大地震が起こる前に、たぶん日本だと思いますがここに大きな地震が起こります。**」

★2 リック・ジョイナー 1999年ハーザー1月号より（抜粋）

「神は『私はアジアの人々を愛している』と私に言われました。神は特別な愛をアジアの人々に対して持っています。ですからアジアに多くの人々を与えられました。日本は特別に力強い国民です。**日本は将来、主の栄光を実際に見る**でしょう。日本人は本当に主を愛するようになります。今、経済危機が日本を震わせていますが**多くの日本人が主に立ち返ります**。しかし、**信じられない災害が将来起こる**でしょう。**大きな地震が東京に起こると、主が私に語られました。**」……

「多くのものが崩壊しますが、**終わりではありません**。私たちが生きている間にそれが起こります。その地震はとても大きなものです。これまでにおきている地震の中で、一番大きな地震になります。」……「**阪神大震災**が起きるまで、日本人は自分たちが建てたものが強固にできていると思っていた事でしょう。しかし、神戸の地震は小さなものに過ぎません。**次に起きる地震はどんなビルも耐えることはできない**と主が私に示されました。

私たちは**聖書の御言葉の上に自分の人生を建てあげる**べきです。そして、**御言葉に従う**ことです。これは日本人を助けるために、神から与えられた**警告**です。」**多くの日本人が主に立ち返る**。日本人は本当に主を愛するようになる。しかし、大きな地震が東京に起きる。(それがいつであるかはわからない。)それが起こると世界経済は崩壊する。その地震は、これまでに起きている地震の中で、一番大きな地震となる。次に起こる地震は、どんなビルも耐えることはできない。」

★NO3 「大震災直後」に……坂 達也(WWGM) 2011年3月16日記（抜粋）

3月11日に日本で巨大地震と津波が起こった時、私はいよいよ**世界が「終末の時代」に突入した**ことを強く感じました。日本の巨大な災害が全世界に先駆けて先頭を切ったのです。……そこで私たちはアメリカの預言者たちが何を言っているかを探し始めました。そして、14日(日本15日)にリック・ジョイナー師のインターネット放送で知ったのですが、22年前にボブ・ジョーンズ師が、日本に大地震が来る預言を主から受けていたそうです。その預言によると、**日本に大地震が起こるまでは終末の艱難時代に入らない**こと、そしてそれが発端となって、世界的な天変地異が起こり、経済恐慌からアナーキズム(無政府状態)に発展するというものです。特にアメリカではカリフォルニア州に必ず大きな地震が起こり、それがノースウエスト地区(オレゴン、ワシントン州)に飛び火することが示され、このカリフォルニア州の預言はジョーンズ師だけでなく、ジョイナー師他、数人の預言者も確認しています。……

※上記のNO3.下記のNO4のメッセージの全文は <http://www.banministries.org/?m=201103> に

★NO4 「日本のために今、叫べ」 チャック・ピアス 2011年3月14日記(抜粋)

私たちは今、日本の人々のために泣き叫んでいます！ 日本に私は過去数年、定期的に訪れてきました。昨日、私たちはロバート&リンダ・ハイドラー、キース・ピアス、アン・テイと共に素晴らしい預言的時間を持ち、日本に対する宣言をしました。レアン・スクワイヤが日本を霊的に覆う霊歌を歌いました。日本の腹部が今大きく震えています。・・・2005年の5月、私はチームと共に日本に行き、北海道で開催された戦略的祈りの集会に参加しました。・・・私達は聖霊が日本を覆い主に回復させるための動きをそこで宣言し解き放ちました。

私達が日本に行く数週間前に、私の兄弟であるキース・ピアスから次の言葉を受けとっていました。・・・「揺り動かしが日本に起こり、それによって人々はへりくだりひざまずくであろう。この揺り動かしが日本の産業を変えるであろう。日本は過去からの深い傷と関係のある fault(断層、過失、短所)の上に建てられている。この揺り動かしが、わたしが 遣わそうとしている使徒的チームが日本の着く前に起こるであろう。彼らが着いた時、わたしは断層のラインの癒しを始め、産業への新しい油注ぎを解放するであろう。わたしはその地方のグループにあなたがたを遣わす。彼らは誇りをもっていたが、へりくだらされるであろう。

恐れてはならない。わたしは山を低くし谷を埋める。日本が平に、平地になるようにわたしはする。」・・・それから数週間のうちに、日本の株式市場が大きく変動し、また大きな電車の惨事が起こりました。そして今私たちは国が大きく揺れ動いているのを見えています。

2005年5月7日、私たちが北海道に滞在している時に、主が言われました。「今年は日本が、様々な原因で変化する年である。わたしはあなたを北(北海道)に連れてきたが、わたしは又、あなたを南でも集まるために連れていこう。わたしは今、北風を目覚めさせてあなたの上に吹くようにしている。あなたが南(沖縄)で集まるとき、南風が起こるように宣言するならば、あなたはわたしの御霊が神戸、京都、東京で渦巻きのように吹くのがはっきりわかるであろう。国を取り囲み渦巻き風が起こるであろう。これは変革の風である。

波が押し寄せてこの国の一部は内部まで水で覆われるようにわたしはする。これによって『私はもっと高いところを見つけねばならない。』という叫びが起こるであろう。今はわたしが北部(北海道)に覚醒をもたらす時だ。ここでわたしが覚醒したものは日本全国に行き渡っていくであろう。

敵は東の門から入って来て、世界が進む道を変えようと逆風を吹かせたいと願うであろう。しかし、あなたが今、北風を目覚めさすならば、リバイバルの種が溢れ出すであろう。わたしの計画に逆い、わたしの民を圧迫しようとする政府関係の人々に、わたしの風を吹き付けて彼らの抵抗をやめさせる。又、わたしの風はわたしの民のうちに経済的理解、悟りを与える。」

この預言が与えられたので、私たちは「北風よ、目覚めよ！北風よ、目覚めよ！敵に囲まれていたこの庭に吹いてそれを解放し、収穫の種が溢れ出るように！」と宣言しました。

最後に、南テキサスにある「シオンの家」のオゼル&レベカ・プエンテからの言葉です。「私と妻とは今朝の Glory of Zion の礼拝をインターネットを通じて見ました。日本に対する祈りの時に、主は私に次のことを示してくださいました。日本は「日の昇る国 Land of The Rising Sun」と言われています。私たちが日本の人々が主に顔を 向けて「よみがえられた御子の 国 Land of the Risen Son」と書かれた新しい旗を掲げるようになることを祈っています。」(終わり)

★NO5 「リアラインされる(整え直される)日本」チャック・ピアス 2011年3月29日 (全文)

堅く立っておられる聖徒の皆様

今という揺れ動きの時、私たちが宣言し、祈るべき重要な鍵となる預言的言葉は次のものです！先週の集会で、主は私たちを導いてくださり、**これからの時代のための鍵となる重要な祈りと預言の言葉**を与えて下さいました。

★詩編61:1-2「神よ。私の叫びを聞き、私の祈りを心に留めてください。私の心が衰え果てるとき、私は地の果てから、あなたに呼ばわれます。どうか、**私の及びがたいほど高い岩の上に、私を導いてください。**」

父よ、地球の上に新しい油注ぎを与え、あなたの民が今いる場所よりもっと高いところに導かれるようにしてください。私たちをより高い安全な場所に、より高いヴィジョンの場所に、より高い確信の場所に、導いてください。敵が支配してきた古い宗教組織や神社仏閣などの建造物が築かれている場所、悪しき霊的環境をつくりだしている「高きところ」を教えてください。私たちをもっと高い場所にお連れください！

地球上すべての場所からあなたの民の叫び声が立ち上るようにしてください。日本から「もっと高い岩に私たちを導いてください。御霊により私たちがまだ行ったことのない場所に私たちを導いてください。」という叫びが、真の神にむかって起こるようにしてください。中東からも「砂漠にあなたの民が行くべき岩がある」という叫びを起してください。地球上すべての場所で「**私たちがとるべき道、とるべき方法を新しく整えてください。**」という叫びを起してください。

私はずっとアモス7:4-6(※次ページ上・中段に記)を祈っています。私の聖書にはその箇所「**火のヴィジョン**」というサブタイトルがついています。多くの人が日本で起こったことや、太平洋をとりまく「火の輪 Ring of Fire」のことで恐怖を抱いています。「火の輪 Ring of Fire」は多くの国を含有し、アメリカもそこに含まれています。この一年、今までにチリ、ニュージーランド、そして日本が非常に激しく揺さぶられました。シアトル、アリューシャン列島、アラスカ、カリフォルニア、メキシコの一部がこれから同じように揺れ動く可能性があります。

国々をリアレンジする(配置し直す、整え直す)ためにわたしはあなたを召した

主は言われます。「今はわたしが 揺り動かしている時である。敵はわたしが定めた時ではない時に、ものごとを揺り動かそうと望むであろう。だからわたしと共に立っていないさい。揺り動かしがこれからの3年間の重要な鍵だ。わたしは地球上の経済を変えている。わたしはわたしの民を新しい秩序へと移動させ、国々をリアライン(整え直す)している。敵は時と法則を変えるであろう。わたしの民は立ち上がらねばならない。恐れて泣き叫んではならない。そうではなく**今この時にわたしが与えている召しを大声で祈らねばならない。**

わたしはあなたをすべての国々の上に立つ国とした。あなたが国々をリアレンジし、地上でのわたしの御国の計画をリアレンジするよにと召した。わたしはあなたが、御国のビジネスを建て上げ、御国のプロセスをリアラインするよにと召した。わたしはあなた方が今まで見たこともないような集会を持つよにと(今)召している。今まで教会はわたしのために非常に繁栄し、多くの人を霊的覚醒へと導いてきた。しかしこれまでのような教会は今シフトしている。**わたしは新しい教会を建てる。**

今この時のために備えられたわたしの奥義(今までは知らされていなかったがこれからのために今知らされる奥義)の貯蔵庫の鍵をあなたの手が受け取る時にのみ、あなたはわたしの持つ御国の計画を受け取るであろう。この御国の鍵によってあなたはこれからのシーズンに入る扉を開けることができる。御国の錠前(lock)は変えられようとしている。それはちょうどパナマ運河で多くの船を通すための水門(lock)が次々と(開け閉めして)変わるのと似ている。わたしは異なる秩序をもたらす、それを異なる方法でもたす。わたしは今、啓示で満ちた船(複数)をわたしの民のためにもたす。これは将来のための建築資材だ。これらは御国の(新しい)船であり、あなたがこれまでに見たどの船とも異なる。今物事は変化している。だから(激しく物事を変える)わたしにアラインし、付いて来なければならないのはあなたである。

★アモス7:4「神である主は、私にこのように示された。見よ。神である主は燃える火を呼んでおられた。火は大淵を焼き尽くし、割り当て地を焼き尽くそうとしていた。」

父よ、私たちは日本で(地震・津波に)のみこまれた地域を高く上げます。深い淵が襲ってのみ込まれた地域、あるいは、揺り動かされて形状が変わり、多くの人たちは備えが出来ていなくて、多くの命が失われてしまった地域を。主よ、あなたの御目をどうかこの地域にお注ぎください。

★アモス7:5-6には……「私は言った。『神、主よ、どうか、おやめください。ヤコブはどうして生き残れましょう。彼は小さいのです。』主はこのことについて思い直し、『このことも起こらない。』と神である主は仰せられました。」……とあります。

主が言われます。「揺れ動きが止むときを願いなさい。わたしと共に堅く立ちなさい。そうすればわたしがまだ揺り動かそうとはしていない土地に敵が入ってきてそこを揺さぶることはないであろう。人々が機能できるように秩序を取り戻し、わたしの御国の計画を進めることが出来るようになるまで、揺り動きが止むように願いなさい。「止みなさい！」と叫びなさい。あなたが「止みなさい！」と叫ぶならば、わたしは止め、備えのない無実なものたちを死に引き渡そうとする敵の計画を止めさせるであろう。

そう叫ぶように今準備をきなさい！ わたしはわたしの叫びをあなたの内の深い奥底にすでに置いた。もしあなたがあなたの奥底から叫ぶならば、わたしは深淵を静めることができる！ なぜならばわたしの民の中にあるわたしの愛は、海よりも深いからだ。その愛は恐れを静め裂け目を癒す！

わたしの民、わたしの預言者たちが出来る唯一のことはわたしと一致することだ。彼らは手をのばして物事の揺れを抑えてはならない！それはウザがしたことだ。ウザは新しい台に乗せるべきものを自分の手で抑えた。わたしはわたしの臨在を将来へと運ぶことができる台を新たに創っている。新しい秩序を持つべきものに新しい秩序を与えてくださいとわたしに願いなさい。それによって敵が争いや混乱をもたらすのを阻止することができる。今はそのような争いと混乱が起こるべきわたしの時ではない。

これはわたしが天から宣言している刑の執行猶予と停止である。もしあなたが刑の執行猶予のために戦うならば、わたしは揺れることのない台を築き直す時間をあなたに与えよう。そのままでは将来あなたを沈めてしまうであろうものを新たに作り直す時間をわたしはあなたに与えよう。今あなたは台の上に建てているが、その台は次のシーズンに耐えることはできない。あなたの建築計画と修正を検討し、わたしと話しなさい。もしあなたがそうするならば、わたしが将来ものごとを揺り動かす時でも、あなたが建てているものを揺るがすことはないであろう。今この時に(わたしの)恵みを受け取りなさい！」(終わり)

★NO6 「世界が変わった日」リック・ジョイナーWWGM 2011年4月14日 (抜粋)

歴史の中で世界の流れを変えてしまう曲がり角となる決定的なポイントがあります。2011年3月11日はそのような日として人々に記憶されるでしょう。日本を揺るがした9.0の地震は、日本列島全体を8フィート移動させ、又、一日の長さを変えるほどに地球軸を動かしてしまいました。それは私たちが気がつかないほどの小さな変化であるかもしれませんが、地球軸のシフトはどれだけ些少であっても大きな影響を与える可能性を秘めています。又、この地震や津波、また原発事故による社会的経済的影響においても同じことが言えるでしょう。

日本に最大級の地震が来るという預言を、ボブ・ジョーンズ師から私が初めて聞いたのは22年前でした。彼はその地震によって世界が激変し、大異変が起こり始めると預言しました。これまで何千人という人々が、ボブが地震やその他の自然災害を驚くべき正確さで預言するのを聞いてきました。

※追記 WWGM 坂 達也 <http://www.banministries.org/>

一昨日リック・ジョイナー師の「世界が変わった日」の訳文を掲載しましたが、その翌日、彼は再び日本の地震の預言に触れています。それによれば、ボブ・ジョーンズ師と共にジム・ベーカー師も、これから東京にもう一つ大きな地震が確実に起こることを預言しているそうです。東京に大きな地震が来ることは、このところ多くの地震専門家も警告しておりますが、この預言を念のため追記致します。

★NO7 「日本政府の為のとりなし」ヘンリー・グルーバー 2011年8月18日 大阪 (各方面からのメールのまとめ)

「世界的預言者ヘンリー・グルーバー師が大阪聖会「8/15(月)~18(木)」、アンテオケ国際宣教神学校、校長: 預言者 リー・サンヨル 博士、学長 吉田 茂樹 牧師)にて語った主からの日本国家に対する緊急の取り成しのリクエストです。

主が、ヘンリー師に語られた事とは、『9月28日ジュネーブで開催される国連総会で『パレスチナを国家として承認し、イスラエルの国境を1967年当時の国境まで戻し、エルサレムをパレスチナに明け渡す』案が出されるが、この案が承認されないようにクリスチャンは祈らなければならない。特にその時、国連に派遣される日本の代表がこの案に反対し、イスラエルを擁護する側に立つように祈って下さい。

もし日本が、国連でイスラエルを擁護しないで、パレスチナを国家として承認する票を投じるなら、主は日本に今回の地震を上回る地震を日本に起こされるだろうとヘンリー師は警告されました。どうか日本のリーダー達とイスラエルの為の執成しの祈りをお願いします。」

その聖会では皆で各自、悔い改めに導かれ、その後非常に長い時間、叫びの執成しをしました。悔い改めのチェックポイントは下記の通りでした。後は、各自、導かれるまま悔い改めをしました。

- 1) 日々の祈りが、自己中心的になっていなかったか、どうか。
- 2) 日本の政治家の為に祈ってきたか、否か。
- 3) 日本の政治家に感謝してきたか、否か。
- 4) 日本国家の代表者が、今まで反イスラエルの立場を取っていた事。等でした。

★このメッセージに用いられた御言葉

★Ⅰテモテ 2:1 そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。

★ゼカリヤ 12:1-3. 宣告。イスラエルについての主のことば。——天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ。——見よ。わたしはエルサレムを、その回りのすべての国々の民をよめかす杯とする。ユダについてもそうなる。エルサレムの包囲されるときに。その日、わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって**重い石**とする。すべてそれをつづ者は、ひどく傷を受ける。地のすべての国々は、それに向かって集まって来よう。

★Ⅱ歴代 20:1 この後、モアブ人とアモン人、および彼らに合流したアモン人の一部が、ヨシャパテと戦おうとして攻めて来た。

20:2 そこで、人々は来て、ヨシャパテに告げて言った。「海の向こうのアラムからおびたしい大軍があなたに向かって攻めて来ました。早くも、彼らはハツァツォン・タマル、すなわちエン・ゲディにきています。」

20:3 ヨシャパテは恐れて、**ただひたすら主に求め**、ユダ全国に断食を宣告した。

20:4 ユダの人々は集まって来て、主の助けを求めた。すなわち、ユダのすべての町々から人々が出て来て、主を求めた。

20:5 ヨシャパテは、主の宮にある新しい庭の前で、ユダとエルサレムの集団の中に立って、

20:6 言った。「私たちの父祖の神、主よ。あなたは天におられる神であり、また、あなたはすべての異邦の王国を支配なさる方ではありませんか。あなたの御手には力があり、勢いがあります。だれも、あなたと対抗してもちこたえうる者はありません。

20:7 私たちの神よ。あなたはこの地の住民をあなたの民イスラエルの前から追い払い、これを永久にあなたの友アブラハムのすえに賜ったのではありませんか。

20:8 彼らはそこに住み、あなたのため、御名のために、そこに聖所を建てて言いました。

20:9 『もし、剣、さばき、疫病、ききんなどのわざわいが私たちに襲うようなことがあれば、私たちはこの宮の前、すなわち、あなたの御前に立って——**あなたの御名はこの宮にあるから**です。——**私たちの苦難の中から、あなたに呼びわります**。そのときには、あなたは聞いてお救いくださいます。』

20:10 ところが今、アモン人とモアブ人、およびセイル山の人々をご覧ください。この者たちは、イスラエルがエジプトの地を出て来たとき、イスラエルがそこに侵入することをあなたがお許しにならなかった者たちです。事実、イスラエルは彼らから離れ去り、これを根絶やしにすることはしませんでした。

20:11 ご覧ください。彼らが私たちにしようとしていることを。彼らは、あなたが私たちに得させてくださったあなたの所有地から私たちに追い払おうとして来ました。

20:12 私たちの神よ。あなたは彼らをさばいてくださらないのですか。私たちに立ち向かって来たこのおびたしい大軍に当たる力は、私たちにはありません。私たちとしては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私たちの目を注ぐのみです。」

20:13 **ユダの人々は全員主の前に立っていた**。彼らの幼子たち、妻たち、子どもたちも共にいた。

20:14 ときに、主の霊が集団の中で、アサフ族の出のレビ人ヤハジエルの上に臨んだ。彼はマクヌヤの子エイエルの子ベナヤの子ゼカリヤの子である。

20:15 彼は言った。「ユダのすべての人々とエルサレムの住民およびヨシャパテ王よ。よく聞きなさい。主はあなたがたにこう仰せられます。『**あなたがたはこのおびたしい大軍のゆえに恐れてはならない。気落ちしてはならない。この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから**。』

20:16 あす、彼らのところに攻め下れ。見よ。彼らはツイツの上り道から上って来る。あなたがたはエルエルの荒野の前の谷のはずれで、彼らに会う。

20:17 この戦いではあなたがたが戦うのではない。しっかり立って動かずにいよ。あなたがたとともにいる主の救いを見よ。ユダおよびエルサレムよ。恐れてはならない。気落ちしてはならない。あす、彼らに向かって出陣せよ。主はあなたがたとともにいる。』

20:18 それで、ヨシャパテは地にひれ伏した。ユダのすべての人々とエルサレムの住民も主の前にひれ伏して主を礼拝し、

20:19 ケハテ族、コラ族のレビ人たちが立ち上がり、大声を張り上げてイスラエルの神、主を賛美した。

20:20 こうして、彼らは翌朝早く、テコアの荒野へ出陣した。出陣のとき、ヨシャパテは立ち上がって言った。「ユダおよびエルサレムの住民よ。私の言うことを聞きなさい。あなたがたの神、主を信じ、忠誠を示しなさい。その預言者を信じ、勝利を得なさい。」

20:21 それから、彼は民と相談し、主に向かって歌う者たち、聖なる飾り物を着けて賛美する者たちを任命した。彼らが武装した者の前に出て行って、こう歌うためであった。「主に感謝せよ。その恵みはどこしえまで。」

20:22 彼らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、主は伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアモン人、モアブ人、セイル山の人々を襲わせたので、彼らは打ち負かされた。

20:23 アモン人とモアブ人はセイル山の住民に立ち向かい、これを聖絶し、根絶やしにしたが、セイルの住民を全滅させると、互いに力を出して滅ぼし合った。

20:24 ユダが荒野に面した物見の塔に上ってその大軍のほうを見渡すと、なんと、死体が野にころがっている。のがれた者はひとりもない。

20:25 ヨシャパテとその民が分捕りをしに行くと、その所に、武具、死体、高価な器具を数多く見つけたので、これを負いきれないほど、はぎ取って、自分のものとした。あまりにも多かったので、彼らはその分捕りに三日かかった。

20:26 四日目に、彼らはベラカの谷に集まり、その所で主をほめたたえた。それゆえ、人々はその所の名をベラカの谷と呼んだ。今日もそうである。

20:27 それから、ユダとエルサレムの人々はひとり残らず、ヨシャパテを先頭にして、喜びのうちにエルサレムに凱旋した。主が彼らに、その敵のことについて喜びを与えられたからである。

20:28 彼らは、十弦の琴、立琴、ラッパを携えてエルサレムにはいり、主の宮に行った。

20:29 地のすべての王国が、主はイスラエルの敵と戦われたということを聞いたとき、神の恐れが彼らの上に臨んだ。

20:30 このようなわけで、ヨシャパテの治世は平穏であった。彼の神は、周囲の者から守って、彼に安息を与えられた。

20:31 このようにして、ヨシャパテはユダを治めた。彼は三十五歳で王となり、エルサレムで二十五年間、王であった。その母の名はアズバといい、シルヒの娘であった。

20:32 彼はその父アサの道に歩み、その道からそれることなく、主の目にかなうことを行なった。

20:33 しかし、高き所は取り除かなかつたので、民はなおも、彼らの父祖の神にその心を定めようとしなかつた。

20:34 ヨシャパテのその他の業績は、最初から最後まで、イスラエルの王たちの書に載せられたハナニの子エフーの言行録にまさしくしるされている。

20:35 その後、ユダの王ヨシャパテは、悪事を行なったイスラエルの王アハズヤと同盟を結んだ。

20:36 彼はタルシシュへ行くための船団をつくるためにこの王と結んだ。彼らはエツヨン・ゲベルで船団をつくった。

20:37 そのとき、マレシャの出のドダワの子エリエゼルがヨシャパテに向かって預言し、こう言った。「あなたがアハズヤと同盟を結んだので、主はあなたの造ったものを打ちこわされました。」そうこうするうちに、船は難破し、タルシシュへそのまま行くことができなかつた。

★ゼカリヤ2:10 シオンの娘よ。喜び歌え。楽しめ。見よ。わたしは来て、あなたのただ中に住む。——主の御告げ。——

2:11 **その日、多くの国々が主につき**、彼らはわたしの民となり、わたしはあなたのただ中に住む。あなたは、万軍の主が私をあなたに遣わされたことを知ろう。

2:12 主は、聖なる地で、ユダに割り当て地を分け与え、エルサレムを再び選ばれる。」

★ゼカリヤ12:1 宣告。イスラエルについての主のことば。——天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ。——

12:2 見よ。わたしはエルサレムを、その回りのすべての国々の民をよろめかす杯とする。ユダについてもそうなる。エルサレムの包囲されるときに。

12:3 その日、わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって重い石とする。すべてそれをかつぐ者は、ひどく傷を受ける。地のすべての国々は、それに向かって集まって来よう。

12:4 その日、——主の御告げ。——わたしは、すべての馬を打って驚かせ、その乗り手を打って狂わせる。しかし、わたしは、ユダの家の上に目を開き、国々の民のすべての馬を打って盲にする。

12:5 ユダの首長たちは心の中で言おう。エルサレムの住民の力は彼らの神、万軍の主にある、と。

12:6 その日、わたしは、ユダの首長たちを、たきぎの中にある火鉢のようにし、麦束の中にある燃えているたいまつのようにする。彼らは右も左も、回りのすべての国々の民を焼き尽くす。しかし、エルサレムは、エルサレムのもとの所にそのまま残る。

12:7 主は初めに、ユダの天幕を救われる。それは、ダビデの家の栄えと、エルサレムの住民の栄えとが、ユダ以上に大きくならないためである。

12:8 その日、主は、エルサレムの住民をかばわれる。その日、彼らのうちのよろめき倒れた者もダビデのようになり、ダビデの家は神のようになり、彼らの先頭に立つ主の使いのようになる。

12:9 **その日、わたしは、エルサレムに攻めて来るすべての国々を捜して滅ぼそう。**

12:10 わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

★ ヘンリー・グルーバー 過去に語った「日本への預言」

主は私に日本列島をめぐる福音宣教の働きをしつつ、侍の霊を服従させ、地の回復のために働いていくべきなのだと示してくださったのです。日本に来たときに最初に与えられた幻では、世界に日本の若者が飛び出していき、よい質のミニストリーをしている姿が見せられました。

神は私に次の言葉を語られました。主は言われました。「わたしはこの日本を愛し、目を置いています。彼らは私の土地を愛し、手入れをする民だからだ。アダムにエデンの園でそのようにせよとわたしは命じたのです。日本の人々に伝えなさい。この自然界で忠実に行なっていること、種と収穫、植物と実を大切にしていることを知っています。また、自分の子どもたちにより教育を与え、よく育てようとしていることも知っています。自分の尊厳を守るためには、いのちをも惜しまないことをよく知っています。今、この自然界で行なっていることを霊的なものに変えましょう。日本に霊の実を生み出しましょう。

自分の尊厳の代わりにわたしの尊厳を与えましょう。新しい旗を与えましょう。それはこいのぼりのような旗でも、日の丸のような旗でもありません。**いやしの翼を持つ義の太陽の旗**です。（* 注・マラキ 4-2）わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となります。私は御霊によって、質のよい実を生み出しましょう。

日本ではクリスチャンが殉教の死を遂げました。その血がわたしに叫んでします。彼らはわたしにささげられた最初のささげものとなりました。わたしは彼らをわたしのもとに迎えました。彼らはわたしのものです。彼らはわたしのところに、『いつまで私たちの血の復讐をなさらないのですか』と叫んでいます。わたしは彼らに『もうしばらく待っていなさい』と言っています。

しかし、そのときがくれば、わたしは失われたものを回復させます。わたしは義の息子と娘を起こします。あなたの息子や娘がイエスのもとに来るならば、主はこの質問をします。あなたが主の栄光ある御顔を拝するとき、そして、彼らの心に熱心さがあるならば、私は彼らの父親と母親に言います。『あなたの息子と娘を、福音を伝えるために世界の四方に解き放ちますか。』自然界でも、世界は日本の科学技術や工業製品を見ている。あなたの労働の実が、市場で求められています。それは多くの人々に高価なものとなされています。

ですからあなたの息子と娘が御霊によって出て行くように命じます。そして神の恵みの麗しさが彼らに輝くでしょう。ですから、あなたの息子や娘が心をわたしに差し出すときに、とどめてはなりません。あなたが神の御霊が彼らに臨むのを見るとき、神に委ねなさい。彼らは世界の四隅に召されていきます。彼らを手放してください。」

預言サイト(<http://www.k2.dion.ne.jp/~yohane/00nihon-yogen2.htm>)より

ヘンリー・グルーバーが語ったことではなく、主が語られたことです。神は日本諸島が今まで見たこともない偉大なことを準備されています。この島々で最も大きい者から最も小さな者まで揺り動かされます。そして、何千人も何千人も何千人も主のもとに来ます。来ます。働き手の皆さん。主の御前にこころを備えてください。今、キリストのからだの中であまり働きをしていないと思っているかもしれません。

みことばの中に自分を隠してください。それとともに力強い油注ぎが来ます。敵は強力な惑わしを持ってきます。しかし、あなたが神のみことばに力強く建て上げられるならば、あなたはそれが惑わしであることを理解するでしょう。あなたはキリストのからだのために見分けます。そうすれば、つまずきや分裂は起こりません。

神はこの日本諸島にご計画を持っておられます。主が私を聖霊で満たされたとき、私は 17 歳でした。そのとき、主は私に日本のリバイバルを見せてくださいました。私はその幻を 41 年間抱きつづけています。それが起こりつつあります。それがかたちづくられ始めています。そして、それらが組み合わされています。それを見失わないでください。この動きを見失わないでください。

日本にもう一つの波が襲いますが吹きます。その波は、島々を嘗め尽くします。心を備えている者は、天からの聖霊の力で満たされ、あなたは世界の四隅に遣わされます。神は世界最後のリバイバルのために、日本の役割を残しておられます。イエス様は言われました。・・・この福音は全世界に宣べ伝えられて、それから終わりが来る、と。わたしはその日には早いわざをすと言われています。ですから、その日を見失わないでください。そのとき、主が来られるのを見ます。そして、主が来られるときに、報いを携えてきてくださいます。皆さんの働きは報いを受けるでしょう。



イスラエルと、東日本大震災の為の最新の祈禱課題が、月に二度、下記のサイトより発表されます。
自動配信も利用できますので、是非ご愛読下さり、ご一緒に祈ってゆきましょう。

BFPJ「東日本大震災ハイメール祈りの課題」 http://www.bfpj.org/news/chai_pray/pray_721.html